

生まれながらの「スマホ世代」の皆さんに

若葉がとても美しい季節です。学習や運動にも気持ちよく取り組みます。連休中には、部活動の大会やコンクールが数多く行われましたので、私もいくつかの大会に参加し、皆さんを応援しました。勝ち負けではなく、ひたむきに取り組む姿勢に多くの感動をもらいました。文武両道の富士見中学校の活躍をとてもうれしく思います。

ここではまず、スマホにまつわるお話からはじめます。パソコンと同じ機能を備えたスマートフォンが本格的に普及したのは、15年ほど前のことです。ということは、ここにいる皆さんは、生まれた時から身近にスマホがある、生まれながらの「スマホ世代」なのです。私が初めて携帯電話を手にしたのは約30年前です。メールサービスやカメラ付き携帯電話の登場には本当に驚きました。そんな大人の世代は、スマホやタブレットなどインターネットに接続できる機器が普及した現在の状況を「とても便利になった」と表現します。しかし、生まれながらの「スマホ世代」の皆さんにとっての、現在のこの状況は「当たり前」のことでしかないのだと思います。

そんな皆さんに知っておいてほしいことを、続けて2つお話しします。

1つ目は「インターネットからの情報が正しいと限らない」ということです。生成AI「チャットGPT」を例にします。チャットGPTを使うと、パソコン等で入力した質問に対して即座に答えが、まるで会話をするように返ってきます。もしかしたら、学校の宿題だってチャットGPTで・・・なんてこともあるのでしょうか。試しに、小学校4年生の国語の時間に誰もが学習した物語教材「ごんぎつね」の感想文を書いてもらうために、チャットGPTに「ごんぎつねの感想」と入力しました。するとこんな答えが返ってきました。「『ごんぎつね』は人間と狐の友情を描いた心温まる物語です。ごんぎつねと少年の交流を通じて、友情や思いやりの大切さを学ぶことができます。」間違いに気づきましたよね。

これは、インターネットからの情報が正しいと限らないことの一例です。実際には、それどころか、間違っただけの情報に溢れているということだってできます。「ごんぎつね」を正しく学習したから、「間違い」と判断できたように、今のこの時期は、授業などを通して、正しい知識を獲得したり正しく判断できる学習を重ねたりすることが大事なのです。

生まれながらの「スマホ世代」の皆さんが「当たり前」だと思わずに、知っておいてほしいことの2つ目は「インターネット上に情報を載せることには危険が潜んでいる」ということです。友達の画像や動画を撮り、それを場合によっては加工するなどして、LINEやインスタ、ティックトックなどで共有するなどのことです。画像等は使わなくても、「悪口」や本人が嫌だと感じる言葉等を発信することは、ネット上のいじめ、もっと言えば罪に問われることもあるのです。「デジタルタトゥー」という言葉を知っていますか。ネット上で拡散された情報は半永久的に残ってしまいます。入れ墨（タトゥー）に例えて、デジタルタトゥーと表現されています。周りの人や自分自身を傷つけないように、インターネット上に潜んでいる危険をしっかりと頭に置いてほしいと考えています。本校のHPには「ネットトラブル注意報」を掲載しています。また、担任の先生からは「スマホ使い方宣言」を改めて配付します。よく読んでおいて下さい。（後略）